



# さいくうあと通信

発行 明和町 斎宮跡・文化観光課  
(明和町大字馬之上 945 番地)  
電話：0596-52-7126 FAX：0596-52-7133  
E-mail：saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp

## 新しい指定文化財の紹介～<sup>さたにしで</sup>佐田西出 <sup>てんのう</sup>天王さんのお社塔～

平成 31 年 3 月 7 日に開催された教育委員会において、「佐田西出 天王さんのお社塔」が新たに町指定文化財（無形文化財 民俗文化財）に指定されました。

西出地区（上御糸地区）の天王さんのお社塔作りは 7 月上旬の日曜日に集落の男性全員（約 30 名）で行われます。女性と服喪中の人は参加しません。この行事は天王信仰に関連するものです。天王信仰は集落に悪い疫病が流行らないよう願うもので、愛知県の津島神社や松阪市の愛宕さんなどの神札をムラの境界や辻、田んぼなどに立てる風習が町内各地で行われています。

西出集落の天王さんの特徴は、藁と竹で立派なお社塔を作り、定期的に作り直す点で、こうした事例は愛知県などで「お仮屋」と呼ばれる類似例があるものの、三重県内には同様の事例が確認されておらず、大変貴重なことから今回文化財に指定されました。



完成したお社塔にお参り



お社塔は、高さが 2 m 程で、<sup>もうそうたけ</sup>孟宗竹 4 本を 60cm 間隔に地面に据えて柱にし、麦藁の屋根がのせられています。屋根には 3 本の軒も表現されています。竹を巧みに組み合わせて高さ 1.3m 付近に棚を作り、祠状にしています。中には愛知県津島神社の御札が祀られています。棚は割り竹を敷いて床を作り、正面は割り竹で作られた<sup>みす</sup>御簾で覆われ、正面以外の三方は麦藁と竹を組んで壁を作り、杉葉が飾り付けられています。

お社塔は西出集落中心部の道路と道路が交差する T 字路のつきあたりにあり、横には文政 6 年（1823）の銘がある常夜灯が建っています。

### <お社塔作りの流れ>

※画像は平成 29 年 (2017)7 月 9 日に撮影したものです

屋根作り



軒部分の  
取付け



祠部分の壁製作

柱の据付



柱の連結・固定

屋根部分の取り付け

祠部分の飾りつけ



柱を固定する桜製の杭



### <類似例>

西出のお社塔に類似する事例として、明和町中村のコンクリート製の祠や、松阪市稲木の木製の祠が確認されています。これらの祠は材質は異なるものの、集落の道路の辻部分に立地する共通点がみられます。

明和町中村



松阪市稲木



お住まいの集落にも同様の事例があれば教えて欲しいのじゃ!!